

2025年 総会第2部 4の期の会企画概要&登壇メンバー紹介

企画概要

【講演】対話 AIと共に歩む未来:社会の変容を考える

【パネルディスカッション】

人間と対話を行うコンピューターシステムである対話 AI の研究者である東中氏(44 期)を講師に迎え、対話 AI の全体像や今後の動向をわかりやすくお話ししていただきます。講演後は、世代の異なるパネリストによる意見交換、東中氏が質問に応える形のパネルディスカッションを行います。対話AIと共に歩む未来において私たちはどのような心構えを持ち、どのように行動すべきか、皆さまと共に考える機会になればと思っております。

【ピアノ演奏】

登壇メンバー紹介

◇講師◇

東中 竜一郎(44期) 名古屋大学大学院情報学研究科・教授

2001 年慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程, 2008 年博士課程修了.

2001 年日本電信電話株式会社入社. 2020 年より, 名古屋大学大学院情報学研究科教授.

NTT 人間情報研究所客員上席特別研究員. 慶應義塾大学環境情報学部特別招聘教授.

2004 年から 2006 年まで英国シェフィールド大学客員研究員. 対話システムの研究に従事. 著書に「おうちで学べる人工知能のきほん」(翔泳社), 「人工知能プロジェクト「ロボットは東大に入れるか」:第三次 AI ブームの到達点と限界」(東大出版), 「Python でつくる対話システム」(オーム社), 「AI の雑談力」(KADOKAWA)など.

人工知能学会, 言語処理学会, 情報処理学会, 電子情報通学会各会員. 博士(学術)

◇パネリスト◇

不二門 万美(24期) 大阪府立大手前高等学校・非常勤講師

1979 年 3 月 神戸女学院大学 家政学部食物学科 卒業

1979 年 4 月 大阪大学医学部 教授秘書

1982 年 結婚後 夫の留学についてアメリカへ、帰国後 大阪府教育委員会に登録

30 年以上 数々の大阪府立高等学校で講師を続ける

現在 大阪府立大手前高等学校 非常勤講師

大阪府立高等学校でもコロナ以降、生徒達に Chromebook が配られ授業でもそれを利用して選んだ課題でグループ発表をしています。

私自身は AI について何もわからず、今回は高齢者のド素人代表として勉強させていただきますので、何卒よろしくお願いたします。

仙石 浩明(34期) 個人投資家

1992 年 3 月 京都大学大学院工学研究科情報工学専攻 修了

1992 年~2000 年 (株)日立製作所 システム開発研究所

遺伝的アルゴリズムおよびネットワーク基盤技術の研究に従事

1995 年 オープンソースソフトウェア「stone」を開発

1997年 情報処理学会山下記念研究賞 受賞

2000年2月～7月 (株)サイバード

ケイ・ラボラトリー 設立準備

2000年8月 (株)ケイ・ラボラトリー 創業、取締役 CTO に就任

2000年～2002年 月刊誌「日経 Linux」にサーバー構築ノウハウを連載

2004年11月 KLab 株式会社に社名変更

2011年9月 東京証券取引所に株式上場

2011年11月 取締役 CTO を退任

個人投資家として現在に至る

大学院および日立製作所の研究所で人工知能の研究をしていましたが、当時のコンピュータの能力の限界や自身の能力不足を感じ、研究者を辞めてエンジニアへ転身することを決意します。そのころベンチャー企業を立ち上げる話を聞き、創業メンバーとして加わることに。2000年に IT 企業を設立。取締役 CTO としてエンジニアの立場から経営に携わります。しかし、コンピュータの能力の飛躍的向上を目にして、この先エンジニアの仕事は無くなるだろうと痛感、2011年の上場を機に、個人投資家へ転身。いまふうに言えば FIRE ですね。その後の14年ほどで、コンピュータはさらに劇的に進化し、いままさにエンジニアの仕事を奪おうとしています。時代に先んじて FIRE を決断して本当に良かったと思います。

中西 美和(44期) 南山大学・教授

1996～2011年 同志社大学にて心理学を学び、博士(心理学)取得

2002年～至現在 医療法人社団杉本医院(現:医療法人知音会杉本医院からすまメンタルクリニック)臨床心理士、公認心理師

2012年～2023年 大阪女学院大学に奉職

2023年～至現在 南山大学に奉職 現在に至る

「これからの時代は心理学やで」という級友の一言に動かされ、心理の世界に飛び込みました。ここまで、どちらかといえば不本意な道に進まざるを得ないことが多かったのですが、出会った方々や運に恵まれ、ここまでできました。ようやく、これまで悩みボヤキながらも、なんとかやってきた自分を、「私は私でしかないんだな」と思えるようになりました。懐かしいという気持ちは、今の自分に元気を与えてくれるという心理学の研究があります。思い出の中に附中が刻まれているみなさまと共に過ごすこの場、この時を大切にしたいです。

永井 健太郎(64期) ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社 モバイルシステム事業部コンシューマセンサ商品

2019年3月 京都大学工学部電気電子工学科 卒業

2021年3月 京都大学大学院情報学研究科通信情報システム専攻 修了

2021年4月 ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社イメージングシステム事業部所属

2024年7月 同 モバイルシステム事業部コンシューマセンサ商品部へ異動、現在に至る

学生時代から半導体の回路設計関連の研究をしており、社会人ではイメージセンサの回路設計に従事しております。現在は民生用カメラのイメージセンサの設計に携わっており、趣味であるスポーツ観戦や登山などの感動的な瞬間を

他の人に伝えられるようなデバイスの開発に日々邁進しております。今回が総会初出席で少し緊張しておりますが、幅広い分野の諸先輩方のお話を伺えることを楽しみにしております。

◇モデレーター◇

松原 志帆(44期) 幼児教室「SailWill」代表

1999年学習院大学経済学部卒、サントリー株式会社本社・NY支社を経て、NYで長女・長男を出産、東京で2人の小学校受験を経験したのち、2018年大手幼児教室講師、室長を経験、同時に幼児親子会員制のファミリークラブの立ち上げ企画運営を経て、本年4月より個人で幼児教室「SailWill」を開校

大学時代に辻秀一先生に学んだ「心の在り方」に興味を持ち始める。サントリーで7年間勤務した後、は容器の商品二人の子育てに専念。辻先生に再会し、改めて「ごきげん」な心でいることの大切さを痛感し、大手教室で6年間の幼児教室講師を経て、幼児教室「SailWill」を開校。目的は親御さんがお子さまの目に見える成果だけでなく、これからの可能性や内側にある心にも目を向けることの大切さを伝えながら、自主性を持って挑戦し続けるお子様を育てること。AIが欠かせない時代になるからこそ、ものになっていくからこそ、人間が内面を大切に、豊かな心を持つことで日々わくわくする人生を歩んでいくことが大切だと考えています。

小川 健太郎(44期・4の期の会代表) 釣竿のブランドTULALA代表

幼少期より釣りに熱中し過ぎて小学校から大学入学まで実質釣り禁止の中、日夜欠かさず両親の監視を潜り、窓から家を抜けて釣りに勤しむ。大学時代に記者として釣りの雑誌社へ入社、広げた人脈を活かして2002年に独立し有限会社エクストリームを設立。中学生の時に制作したルアーが2005年ごろにアメリカの大会で話題となり、当時憧れていたプロに名指しで評価される。現在は中学生の頃に描いていたシルエットイラストのほうが評価されアパレルブランド fin-ch 他いくつかのデザインを手掛ける。2017年のダイハツとの池田市コラボ他、企業との共同企画で魚のイラストを提供している。

八重山古典民謡・新人賞、宮古島古典民謡・新人賞、優秀賞を受賞。

◇ピアノ演奏◇

広田 圭美(44期) ピアニスト・作曲家

東京藝術大学作曲科卒業。

2008年タマトミカでメジャーデビュー。2012年よりピアノとパーカッションのユニット227結成。3枚のアルバムを発売。テレビ東京系「美の巨人たち」ED曲、TBSラジオ「ナイツのちゃきちゃき大放送」NHK「冬の朗読音楽会」舞台「タクラマカン」、他CM音楽など多数音楽、ピアノ担当。松崎しげる、大橋純子、庄野真代、狩人、鈴華ゆう子(和楽器バンドボーカル)小野正利、松田樹利亜、日野美歌、松本英子(敬称略)などのアーティストから、和楽器、ミュージカルまで様々なジャンルのサポートピアニストとしても活動している。2023年12月3日初のソロアルバム「Selfportrait」を発売。インストゥルメンタル「トップアルバム」で1位を記録(2023年12月08日)。227では、サンドアート、影絵、タップダンス、真剣とのコラボなど新しい挑戦し続けている。

音楽だけで飯を食えるのか？好きなことだけで生きていけるのか？と思われることも多いし、謎が多い仕事だと思います。作曲家、そして、ピアニストという職業は、好きでなければ続けられないけれど、きっと特殊ではなく、音楽は、1人では奏でられないし、チームがあり、1つの作品、1つのステージに向かう中に生きる大切なことが毎回詰まっ

ています。そして、なにより続けることが一番難しい仕事。挑戦し続けることが、生きるエネルギーになる、をテーマにした曲を演奏できたら、と思っております。